



## 失敗を成長の糧に！

校長 羽田野庸史

夏休み前は、台風の発生が例年よりも遅く、水不足が心配されましたが、9月が終わると、ここ10年で台風の上陸回数がいちばん多い年となっていました。

さて、相撲の世界には、「負けて覚える相撲かな」という言葉があります。十両力士が徐々に力を付けて番付を上げ、自分もそこそこやれるのではないかという自信とともに、幕内に入ります。しかし、相手が役付力士でもないのに、全く刃が立たずに負けてしまい、また十両に戻るということはよくあることです。そして、そこで自分の課題を見詰め、克服して力を付けてまた幕内に上がっていくこととなります。負けることで自分の力量を知り、必要なものが何かを見極め、稽古して力を付けて成長していきます。つまり、負けてみて、分かることがたくさんあるということです。

私がかつて勤務した学校で、児童の委員会発表やクラブ発表が通り一遍で、児童に必ずしも力が付いていないのではないかという話し合いになったことがあります。それは、発表の準備に児童が主体的に関わっていないにも関わらず、本番で失敗させたら可哀想という教師の思いと、子供の失敗が教師の指導力不足と思われるのではないかという不安から、とりあえず発表できるものに仕上げ、発表させていることに原因があるということになりました。そして、児童が主体的に関わっていない時は、つじつまを合わせるのではなく、あえて失敗させ、その失敗から次はどうしたらよいかを考えさせようということになりました。もちろん運動会や学芸会のような大きな行事で失敗させてはいけませんが、日々の教育活動については、そのような共通理解の下、失敗から学ぶことを大切にしてきました。

学校生活においても、家庭生活においても、子供が可哀想だから失敗させないのではなく、失敗経験を通して、失敗しそうなことにもチャレンジする強い気持ち、失敗した時にどうしたらいいのか考えられる課題解決力、失敗した人の気持ちが分かる優しい気持ちをもった人に育てていくことが大切だと考えます。そのために、児童の活動を見守り、失敗した時は支え、成長につなげていきたいと思えます。

## 10月 行事予定

日	曜	行事等	放課後遊び
1	土	都民の日	
2	日		
3	月	安全指導 クラブ スーパー見学 (3-2)	4~6
4	火	視力 (6年) スーパー見学 (3-1)	3~6
5	水	避難訓練	なし
6	木	委員会発表① 視力 (5年) 4時間目 研究授業 (4年2組 5校時目)	なし
7	金	生活科見学 (1年) 視力 (4年)	2~6
8	土	港区民まつり	
9	日	港区民まつり	
10	月	体育の日	
11	火		3~6
12	水	4時間授業 清掃工場見学 (4年) 視力 (3年)	なし
13	木	委員会発表② 歯科 (2・5年)	4~6
14	金	学校公開 学校説明会 (新1年保護者対象) 15:30	2~6
15	土	学校公開 日本文化 学校評議員会	なし
16	日		
17	月	視力 (2年) 委員会	なし
18	火	区連合運動会 (6年) 視力 (1年)	3~6
19	水		なし
20	木	音楽朝会 歯科検診 (1・4年)	4~6
21	金	通学路点検	2~6
22	土		
23	日		
24	月	親子読書開始 クラブ	4~6
25	火	区連合運動会予備日	3~6
26	水		なし
27	木	委員会発表③ 歯科検診 (3・6年)	4~6
28	金	4時間授業 研究授業 (1年2組 5校時目)	なし
29	土	お口の健康フェスタ (高輪区民センター)	
30	日	サイエンスフェスタ (麻布区民センター)	
31	月		4~6

## 10月の生活目標

生活指導主幹 三根 博喜

**学校で出会った人たちに進んで気持ちのよい  
あいさつや会釈をしましょう。**

“あいさつ”は、「自身の心を開く行為」であり、「相手の存在を認めていること」を伝える行為です。

心理学者のマズローは、「人は周囲の人に認めてもらうことで、自分をもっと成長させたいという欲求が高まる。」と考えました。企業で“あいさつ”を重視するのは、あいさつによって互いに認め合い、個人や企業の成長を促そうとしているからです。人があいさつを行うということは、互いの成長を促すこととなります。